

◎事業全体の進行管理

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
予算額	30,000千円	75,814千円	72,437千円			
目標	—	5,000人	5,400人	5,700人	6,000人	
実績	2,532人	6947	831人			
達成率		138.9%	15.4%			

◎用語について

アウトプット（活動結果）：インプット（施策や事業に投入される手段（予算等））を用いて実施した事業の実績

アウトカム（成果）：アウトプットによって発生する効果

ロジックモデル：事業がその目的（最終アウトカム）を達成するに至るまでの論理的な因果関係をアウトプットやアウトカムを用いて明示したもの

◎高齢者主体事業

2019 ○シニア劇団2団体の立ち上げ
 <横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」>
 劇団員数37名（男性10名 女性27名）
 平均年齢67.7歳 最高齢85歳 最年少60歳
 <綾瀬シニア劇団「もろみ糍座」>
 劇団員数19名（男性4名 女性15名）
 平均年齢71.0歳 最高齢81歳 最年少62歳
 ○シニアダンス企画（チャレンジ・オブ・ザ・シルバー）の実施（ワークショップの実施）
 ○公演7回 ワークショップ15回 高齢者劇団関係87回

2020 ○シニア劇団（8月20日時点）
 <横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」>
 劇団員数29名（男性9名 女性20名）
 平均年齢70.4歳 最高齢86歳 最年少61歳
 <綾瀬シニア劇団「もろみ糍座」>
 劇団員数12名（男性2名 女性10名）
 平均年齢71.0歳 最高齢81歳 最年少63歳
 <小田原シニア劇団「チリアクオールディーズ」>
 （新設）
 ※3劇団は劇団員を（追加）募集中（8月1日～同28日まで）
 ○高齢者劇団関係39回（オンライン稽古等）動画配信5回（8月20日時点）
 ○シニアダンス企画関係 「シニアのためのお家でできる心軽やかダンスレッスン動画」の配信（7月13日配信開始。再生回数：29,524回 ※8月25日時点）

◎障がい者主体事業

2019 ○公演6回 ワークショップ1回
 2020 ○9月以降に実施予定

◎その他（多文化共生等）主体事業

2019 ○公演1回 ワークショップ2回 シンポジウム1回
 2020 実施予定なし

①高齢者主体事業の発表者の増加

2019 4,985人<チャレンジ・オブ・ザ・シルバー、横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」、綾瀬シニア劇団「もろみ糍座」等>
 2020

②障がい者主体事業の発表者の増加

2019 1,350人<NPO法人ドリームエナジープロジェクト、デフ・パペットシアター・ひとみ等>
 2020

③その他（多文化共生等）主体事業の発表者の増加

2019 612人<ギニア共和国、鹿児島県・三島村の中学生及び本県の小学生～大学生らのスペシャルチーム等>
 2020

④高齢者主体事業の鑑賞・体験者の増加

2019 517人<男性32.1% 女性64.2%> ※参加年齢が限定されているチャレンジ・オブ・ザ・シルバーの数値を除く
 <10代1.5% 20代4.8% 30代5.8% 40代8.9% 50代13.3% 60代23.0% 70代以上41.6%>

⑤障がい者主体事業の鑑賞・体験者の増加

2019 313人<男性32.6% 女性64.5%>
 <10代2.9% 20代12.1% 30代10.2% 40代17.9% 50代25.2% 60代21.1% 70代以上9.6%>

⑥その他（多文化共生等）主体事業の鑑賞・体験者の増加

2019 49人<男性40.8% 女性55.1%>
 <10代46.9% 20代4.1% 30代10.2% 40代18.4% 50代8.2% 60代14.3% 70代以上2.0%>

①発表者の意識の変化

2019 79.7%

※体や心が元気になったと感じた人の割合

②鑑賞・体験者の意識の変化

2019 84.1%

※共生社会の実現が必要だと感じた人の割合（2019年度）

年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施し、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与する

※④⑤⑥の<>内の数値は、アンケート回答者（鑑賞・体験者全体の20.4%）のみのデータによる